

西淀病院医師卒後臨床研修の理念と基本方針

■ 研修の理念

人権を尊重し、安全・安心・信頼の医療・介護・保健活動を担う医師養成を行います。

■ 基本方針

地域住民の声を聴き、地域のニーズに応えられる臨床能力の獲得をめざします。

ジェネラリストとしての素養を持った医師が多い医局や多職種が積極的にかかわる研修の強みを生かして、「当院でしかできない」研修、すなわち大阪のような都市圏において、将来家庭医・病院総合医として、あるいは一定の専門性を持った総合医として、地域の診療所や病院で医療を担っていく医師のための研修を行います。

病棟研修のみでなく外来研修・訪問診療も位置づけ、病棟・救急・外来・在宅とさまざまな診療現場で包括性と継続性を意識して仕事ができるバランスのとれた臨床医になるための研修を行います。屋根瓦方式のチームで患者様の安全を守り、研修医を一人にしない指導をします。多職種や病院を支える友の会・地域住民も含めて研修医の成長を支えます。

■ 研修の到達目標

「やさしい主治医力」と「たしかな当直力」を身につけ、地域に貢献できる医師になります。

以下の能力を習得し、主治医として包括的に患者にかかわる姿勢を身につけ、病棟だけに限らず臨床の様々な場面で初期対応ができるようになることを目標とします。

- ① 病歴・身体所見からの臨床推論や状況に応じた適切なプレゼンテーションなど、将来進む科にかかわらず必要とされる基本的臨床能力を習得します。
- ② 良好な患者-医師関係を構築でき、医療チームの一員として円滑に業務を行えるマナーやコミュニケーション能力を習得します。
- ③ スーパーローテーションを経験することで患者さんの幅広い健康問題を扱い、自ら学習し成長する姿勢を身につけます。
- ④ さまざまな困難をかかえた患者さんに多面的・総合的なアプローチを行い、患者さんとその家族に寄り添い問題解決を行う姿勢を身につけます。

(2014年3月24日 西淀病院管理部会議にて改定)